

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	9 安全・安心な港づくりの推進 (防災・安全)				
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度		交付対象	静岡県	
計画の目標	命と暮らしを守る港湾インフラの再構築を行い、安全・安心な港づくりを推進する。				

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 陸上輸送のボトルネック箇所を3箇所 (H25) から1箇所 (H29) に削減する。 震災時に活用できる緑地の整備率を 29.0% (H25) から59.9% (H29) に増加させる。 施設の利便性・安全性を向上させるため、改良・補修の整備率を36.3% (H25) から58.8% (H29) に、主要施設の長寿命化計画策定率を92.7% (H25) から100% (H29) に増加させる。 				
-----------------	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考					
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H29末)						
① 陸上輸送ボトルネック数	3箇所		1箇所	・美しく、強く、しなやかな “ふじのくに” づくり計画 (静岡県国土強靱化地域計 画) を平成27年4月に策定済 み。					
② 震災時に活用できる緑地の整備率 (施設整備率) = (整備面積) / (全体計画面積)	29.0%		59.9%						
③ 施設改良・補修の整備率 (施設整備率) = (施設整備数) / (施設整備必要数)	36.3%		58.8%						
④ 長寿命化計画の策定率 (計画策定率) = (策定施設数) / (策定施設必要数)	92.7%		100%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	5,068 百万円	A	5,068 百万円	B		C		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ									
第2期 (H20~H24)					第3期 (H25~H29)				
分野名					分野名	安全・安心			
目標名					目標名	地震災害に強い基盤整備			
指標名					指標名	重要道路等にある橋梁の耐震化率	目標値 (H29)	66.7%	

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) - : その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

交付対象事業																		
A1 港湾事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29			
1-A1-1	港湾	内地	静岡県	直接	-	拠点	改良	橋梁 (改良)	数量 N=3 基	清水港・袖師臨港地区						327	△	H33
1-A1-2	港湾	内地	静岡県	直接	-	拠点	改良	岸壁 (改良)	水深 D=7.5m、延長 L=260m	清水港・日の出地区						527	○	
1-A1-3	港湾	内地	静岡県	直接	-	拠点	建設	緑地	防災緑地A=2.8ha	清水港・新興津地区						106	△	H35
1-A1-4	港湾	内地	静岡県	直接	-	重要	改良	道路 (改良)	延長 L=840m	田子の浦港・中央地区						410	○	
1-A1-5	港湾	内地	静岡県	直接	-	地方	建設	物揚場	水深 D=4.0m、延長 L=220m	下田港・外ヶ岡地区						580	△	H34
1-A1-8	港湾	内地	静岡県	直接	-	拠点	改良	興津第2号道路 (改良)	面積 A=10,150m ²	清水港・興津地区						54	△	H34
1-A1-9	港湾	内地	静岡県	直接	-	拠点	改良	袖師第1埠頭岸壁 (改良)	延長 L=960m	清水港・袖師地区						60	△	H31
1-A1-10	港湾	内地	静岡県	直接	-	拠点	改良	上屋舎 (改良)	数量 N=1棟	清水港・江尻・富士見地区						39	-	未実施
1-A1-11	港湾	内地	静岡県	直接	-	拠点	改良	袖師臨港道路 (改良)	数量 A=60,060m ²	清水港・袖師臨港道路地区						168	△	H31
1-A1-12	港湾	内地	静岡県	直接	-	重要	改良	富士5~6号岸壁 (改良)	延長 L=250m	田子の浦港・中央・富士地区						170	△	H35

1-A1-13	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	鈴木跨線橋(改良)	数量 N=1橋	田子の浦港・鈴川・依田橋地区						21	○	
1-A1-14	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	富士2～3号岸壁(改良)	延長 L=135m	田子の浦港・中央・富士地区						66	△	H33
1-A1-15	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	東埠頭1～6号岸壁(改良)	延長 L=535m	御前崎港・女岩・御前崎地区						7	○	
1-A1-16	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	港内道路1号線(改良)	数量 A=20,000m ²	御前崎港・女岩・御前崎地区						54	△	H34
1-A1-17	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	西埠頭8・9号岸壁(改良)	延長 L=200m	御前崎港・女岩・御前崎地区						8	○	
1-A1-18	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	和田磯船揚場(改良)	延長 L=20m	熱海港・和田磯地区						39	—	未実施
1-A1-19	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	防波堤 消波工(改良)	延長 L=280m	熱海港・和田磯地区						66	△	H35
1-A1-20	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	新井浜第1船揚場(改良)	延長 L=101m	伊東港・新井・玖須美地区						102	○	
1-A1-21	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	玖須美第1船揚場(改良)	延長 L=39m	伊東港・新井・玖須美地区						45	—	未実施
1-A1-22	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	東門橋(改良)	数量 N=1橋	浜名港・向島・航路地区						31	—	未実施
1-A1-23	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	港口中導流堤(改良)	延長 L=288m	浜名港・向島・航路地区						71	—	未実施
1-A1-24	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	新居航路南導流堤(改良)	延長 L=288m	浜名港・向島・航路地区						105	△	H32
1-A1-26	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	西物揚場(改良)	延長 L=160m	沼津港・内港地区						23	—	移行
1-A1-28	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	外ヶ岡物揚場(改良)	延長 L=141m	下田港・外ヶ岡・武が浜・柿崎地区						39	△	H30
1-A1-29	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	外港物揚場(改良)	延長 L=141m	下田港・外ヶ岡・武が浜・柿崎地区						42	—	未実施
1-A1-30	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	内港物揚場(改良)	数量 L=477m	下田港・外ヶ岡・武が浜・柿崎地区						63	—	未実施
1-A1-31	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	松崎物揚場(改良)	水深D=2.0m、延長L=114m	松崎港・松崎地区						11	○	
1-A1-32	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	松崎物揚場(改良)	水深D=3.0m、延長L=57m	松崎港・松崎地区						21	—	未実施
1-A1-33	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	松崎物揚場(改良)	水深D=2.5m、延長L=53m	松崎港・松崎地区						20	—	未実施
1-A1-34	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	物揚場(改良)	水深D=2.5m、延長L=50m	松崎港・松崎地区						18	—	未実施
1-A1-35	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	松崎物揚場(改良)	水深D=2.0m、延長L=120m	松崎港・松崎地区						12	—	未実施
1-A1-36	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	みなとトンネル(改良)	延長 L=373m	御前崎港・地頭方地区						330	△	H30
1-A1-37	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	西埠頭1・2号岸壁(改良)	延長 L=480m	御前崎港・女岩・御前崎地区						94	△	H33
1-A1-38	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	西埠頭10号岸壁(改良)	延長 L=140m	御前崎港・女岩・御前崎地区						114	△	H31
1-A1-39	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	泊地・航路(改良)	面積 A=47,950m ²	下田港・内港地区						258	△	H34
1-A1-40	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	泊地・航路(改良)	面積 A=24,010m ²	松崎港・松崎地区						221	△	H35
1-A1-41	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	港口東導流堤(改良)	延長 L=210m	浜名港・舞阪地区						325	△	H34
1-A1-42	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	維持管理	長寿命化計画策定	係留施設N=1件、橋梁N=1件、臨港道路N=1件	田子の浦港全域						4	○	
1-A1-43	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	長寿命化計画策定	係留施設N=2件、臨港道路N=1件	熱海港全域						3	○	
1-A1-44	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	長寿命化計画策定	係留施設N=2件、橋梁N=1件、臨港道路N=1件	伊東港全域						4	○	
1-A1-45	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	長寿命化計画策定	橋梁N=1件、臨港道路N=1件	浜名港全域						2	○	
1-A1-46	港湾	内地	静岡県	直接	—	拠点	改良	新興津1号岸壁(改良)	水深D=15.0m、延長 L=350m	清水港・新興津地区						180	△	H31
1-A1-48	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	大藪岸壁(改良)	水深D=4.5m、延長L=60m	土肥港・大藪地区						45	△	H34
1-A' 1-47	港湾	内地	静岡県	直接	—	拠点	改良	日の出地区(クリアランス事業)	上屋N=2棟、ジブクレーンN=1基	清水港日の出地区						170	—	移行
	港湾	内地	静岡県	直接	—	拠点	維持管理	長寿命化計画策定	臨港道路N=1件	清水港全域						3	○	
	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	維持管理	長寿命化計画策定	臨港道路N=1件	御前崎港全域						2	○	
	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	長寿命化計画策定	臨港道路N=1件	下田港全域						1	○	
	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	長寿命化計画策定	臨港道路N=1件	手石港全域						1	○	
	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	長寿命化計画策定	臨港道路N=1件	松崎港全域						1	○	
	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	長寿命化計画策定	臨港道路N=1件	宇久須港全域						1	○	
	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	長寿命化計画策定	臨港道路N=1件	土肥港全域						1	○	
	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	長寿命化計画策定	臨港道路N=1件	沼津港全域						2	○	
	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	長寿命化計画策定	臨港道路N=1件	相良港全域						1	○	
合計																5,068		

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

その他関連する事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費	進捗状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29			
I-A' 1-47	港湾	内地	静岡県	直接	—	拠点	建設	緑地	防災緑地A=4.6ha	清水港・新興津地区						310	—	移行
合計														310				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。
 (参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業
 (別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 田子の浦港中央地区の道路整備により、埠頭間を結ぶ主要道路のボトルネックを解消した。
- ・ 清水港新興津地区の緑地整備により、震災時に避難地・防災拠点として機能するオープンスペースの確保が図られた。
- ・ 施設の改良・補修の整備進捗の一例として、御前崎港西埠頭8・9号では岸壁整備により、防舷材及び車止めを改良し、施設の利便性及び安全性の向上に寄与した。
- ・ 県内港湾における臨港道路の長寿命化計画を策定し、予防保全型の維持管理への転換が図られた。

II 定量的指標の達成状況	指標①（陸上輸送ボトルネック数）	最終目標値	1箇所	目標値と実績値に差が出た要因	一部の箇所で、周辺施設関係者や工場関係者と協議を要することとなり、計画期間内での完成が見込めなくなった。
		最終実績値	2箇所		
	指標②（震災時に活用できる緑地の整備率）	最終目標値	59.9%	目標値と実績値に差が出た要因	隣接する緑地整備が完了しておらず、取り合い部について、供用することができなかったため。
		最終実績値	54.3%		
	指標③（施設改良・補修の整備率）	最終目標値	58.8%	目標値と実績値に差が出た要因	港湾事業全体の重要度を考慮した事業実施により、計画より進捗が遅れているが、改良・補修の整備率は着実に伸びている。
		最終実績値	46.1%		
	指標④（長寿命化計画の策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	一部施設で統合・廃止予定のため、策定を見送った。
		最終実績値	97.5%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

港湾施設は高度経済成長期を中心に整備されたため、急速に老朽化が進行している。老朽化した施設の利便性・安全性を向上させるため、施設の改良・補修工事を継続して実施し、安全・安心な港づくりを推進していく。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

